

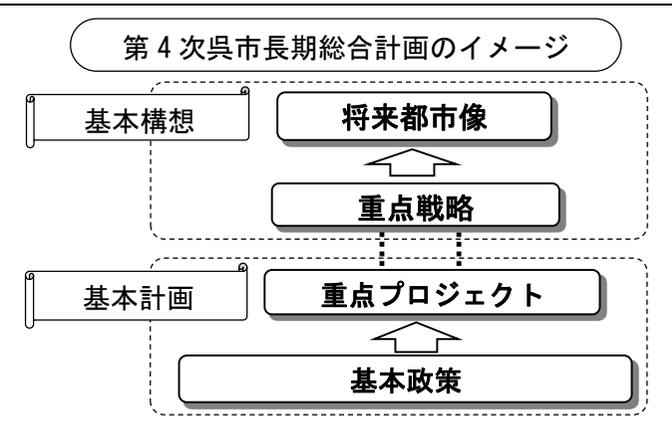
## 第4次呉市長期総合計画後期基本計画の改定について（報告）

### 1 後期基本計画改定の趣旨

後期基本計画は、基本構想に掲げる将来都市像の実現に向け、平成28年度から平成32年度までの5年間で取り組む「重点プロジェクト」や、その他市政全般に係る「基本政策」の方向性及び代表的な施策を明示しています。

策定や改定に当たっては、呉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の理念やくれワンダーランド構想に沿う考え方を盛り込むとともに、合併建設計画を踏まえた市域の一体感の更なる醸成や、過疎地域の日常生活基盤の維持・向上を図り、地域の特色を最大限に活かしたまちづくりを展開していくこととしています。

この後期基本計画について、平成30年度当初予算を踏まえて改定しました。



### 2 平成30年度当初予算を反映したローリング

#### (1) 重点プロジェクトに追加した事業等（新規 6事業、拡充18事業）

#### ○重点戦略1「人づくり」

・(新) 2020 東京オリンピック事前キャンプ	2,240 万円
・(新) タブレットを活用した教育の推進	438 万円
・(新) 緩やかなお節介事業	90 万円
・(拡) 妊娠期から子育て期にわたる包括支援	2,504 万円
・(拡) 目指せ！健康寿命日本一プロジェクト ～健診の受診促進～	1 億 9,534 万円
・(拡) 地域おこし協力隊の受入れ推進	2,942 万円

#### ○重点戦略3「都市づくり」

・(拡) 呉市中心部回遊性向上機能の整備	2,000 万円
・(拡) 拠点スポーツ施設の整備	31 億 891 万円
・(拡) コンビニ交付サービスの充実	3,477 万円
・(拡) 定住サポートセンターの充実	156 万円

#### ○重点戦略2「地域づくり」

・(新) 災害廃棄物の処理対策	500 万円
・(新) 新産業団地造成の検討	500 万円
・(新) 起業家支援プロジェクト	60 万円
・(拡) 道路整備事業	5 億 4,370 万円
・(拡) 住宅・建築物の耐震化促進事業	1 億 4,272 万円
・(拡) 中央公園防災整備事業	3,600 万円
・(拡) 中小企業の新製品・新技術開発支援	8,020 万円
・(拡) 有害鳥獣対策の充実	5,416 万円
・(拡) 産地育成・地産地消の推進	647 万円
・(拡) 観光資源のブラッシュアップ	9,450 万円
・(拡) インバウンドの推進	1,339 万円
・(拡) 日本遺産を活用した呉の魅力発信事業	2,957 万円
・(拡) 新規漁業就業者への支援	470 万円
・(拡) 障害者就労支援体制の充実	200 万円

(2) ローリング後の事業数・事業費 (H28~H32)

(単位：億円)

- ローリングの結果、計画期間中の概算事業費全体額は約 517 億円
- 平成 29 年度末現在の執行額は約 158 億円

基本目標	事業数						事業費		進捗状況	
	追加事業	既存事業				合計	H28~H32 (①)	内H30年度	内H28~H29年度	
		拡充	継続	完了	小計				執行額 (②)	全体進捗率 (②/①)
人づくり	3	3	33	4	40	43	164.5	29.4	54.3	33.0%
地域づくり	3	11	33	2	46	49	224.2	45.9	45.9	20.5%
都市づくり	0	4	22	3	29	29	128.0	57.8	57.8	45.2%
合計	6	18	88	9	115	121	516.7	133.1	158.0	30.6%

3 平成 29 年度中に策定した個別計画

- 呉市スポーツ振興計画 (平成 29 年 10 月策定)
- 呉市文化芸術振興計画 (平成 29 年 10 月策定)
- 第 3 次健康くれ 2 1 (健康増進計画・食育推進計画) (平成 30 年 3 月策定)
- 呉市高齢者福祉計画・第 7 期介護保険事業計画 (平成 30 年 3 月策定)
- 第 5 期呉市障害福祉計画・第 1 期呉市障害児福祉計画 (平成 30 年 3 月策定)
- 第 2 期呉市国民健康保険データヘルス計画・第 3 期特定健康診査等実施計画 (平成 30 年 3 月策定)
- 第 3 次呉市病院事業改革プラン (平成 30 年 3 月策定)
- 第 2 次呉市環境基本計画 (改訂版) 及び呉市地球温暖化対策実行計画 区域施策編 (平成 30 年 3 月策定)
- 呉市地球温暖化対策実行計画 事務事業編 (第 4 期くれエコアクションプラン) (平成 30 年 3 月策定)
- 第 3 次呉市行政改革実施計画 (平成 30 年 3 月策定)
- 第 2 次呉市職員体制再構築計画 (平成 30 年 3 月策定)

4 目指すべき姿 (目標) の修正

【重点戦略 1】人づくり ~市民主体のまちづくりの展開~ 第 2 項 市民の健康づくりの推進

修正項目	修正前	修正後	修正理由
特定健康診査の受診率	45%	42%	第 3 期特定健康診査等実施計画において、これまでの実績を踏まえ、平成 30 年度から平成 35 年度までの実施目標を新たに設定したため

【重点戦略 2】地域づくり ~地域の魅力の更なる創出~ 第 3 項 産業を支える人材の確保・育成

修正項目	修正前	修正後	修正理由
実践型地域雇用創造事業による就職者数	568 人	689 人	実践型地域雇用創造事業において、平成 27 年度から平成 29 年度までの実績が、計画の約 2 倍の就職者数となったことを受け、平成 30 年度から平成 32 年度実施分について計画の数値を上方修正したため

## 5 目標達成状況等

### <評価基準>

評価	KPI 指標の平成29年度末までの達成率
◎	全ての項目で40%を超えている
○	一つ以上の項目で40%を超えている
△	全ての項目で40%を超えていない
—	達成率が算出できないもの

※後期基本計画の計画期間、5年のうち2年終了時点のため、達成目標は40%を基準とする。

### 【重点戦略1】人づくり ～ 市民主体のまちづくりの展開 ～

#### 第1項 未来を担う人材の育成

重点的に取り組む事業						
(1) 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援（不妊治療の支援，子育て支援センターの充実など） (2) 健やかに育つ子育て環境の整備（保育サービスの充実，放課後児童会の充実など） (3) 心豊かでたくましい「呉の子ども」を育てる教育の推進（小中一貫教育の推進，特色ある呉の教育の推進など） (4) 高等学校教育の充実（市立呉高等学校施設の耐震化など）						
目指すべき姿(目標)						
項目	目標(H27→32)	単位	H28	H29	累計	達成率
学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合	小学生：88.8→90	%	90.9	90.3	—	—
	中学生：88.4→90	%	86.5	87.0	—	—
将来の夢や目標をもっている児童・生徒の割合	小学生：93.4→95	%	91.6	93.4	—	—
	中学生：78.8→80	%	76.1	78.6	—	—
評価	現状と今後の方向性					
—	<b>【現状】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合」について，小学生は2年連続で目標値に達している。また，中学生は前年より増加しているが，平成27年度の数値を下回った。 ※ 県内平均値（小学生：88.7%，中学生：87.2%）</li> <li>「将来に夢や希望を持っている子どもの割合」は，前年より増加しているが，小学生は平成27年度と同数値となり，中学生は平成27年度の数値を下回った。 ※ 県内平均値（小学生：91.9%，中学生：75.8%）</li> </ul> <b>【今後の方向性】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代包括支援センター「えがお」では，妊娠期から子育て期にわたる包括支援をワンストップで行い多様なニーズに対応できる体制を整えており，引き続き，助成制度や相談体制等の充実に努める。</li> <li>小中一貫教育を基盤として，「ものづくり体験」や文化・芸術体験活動，トップアスリート・チャレンジ等の本物体験を通じて特色ある呉の教育を推進し，心豊かでたくましい「呉のこども」を育てることにより，目標達成に努める。</li> <li>小中学校普通教室へ空調設備を設置し，児童・生徒の生理的・心理的な負担を軽減し健康的な学習環境を整備する。 ※中学校は平成29年度設置済</li> </ul>					

## 第2項 市民の健康づくりの推進

重点的に取り組む事業						
(1) 健康づくりを支える地域ぐるみでの運動習慣の定着（地域に根差す健康づくりの推進など）						
(2) 恵まれた医療環境等を活かした生活習慣病予防・介護予防対策（地域包括ケアシステムの推進，健診の受診促進など）						
(3) 地域医療体制の確保（救急医療体制の確保など）						
目指すべき姿(目標)						
項目	目標(H27→32)	単位	H28	H29	累計	達成率
健康であると感じる市民の割合	※H26 72.3 → 80	%	(H31調査予定)		—	—
健康寿命（日常生活動作が自立している期間の平均）	平均寿命の増加分を上回る 健康寿命の増加 ※H27 男性 平均寿命79.94年 健康寿命79.00年 女性 平均寿命85.78年 健康寿命83.44年	男性平均 寿命(年)	81.05	—	—	—
		男性健康 寿命(年)	79.96	—	—	—
		女性平均 寿命(年)	86.97	—	—	—
		女性健康 寿命(年)	84.42	—	—	—
特定健康診査の受診率（国民健康保険加入者）	25.3 → 45 (平成30年度改定で42に変更)	%	24.7	26.0	—	—
評価	現状と今後の方向性					
—	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度の呉市の健康寿命と平均寿命との差は，男性：1.09年，女性：2.55年となっている。平成27年度の健康寿命と平均寿命との差は，男性：0.94年，女性：2.34年であり，男女とも健康寿命と平均寿命との差が広がっている。</li> <li>平成29年度呉市国民健康保険特定健康診査受診率は，26.0%であり，前年度に比べて1.3%上がっている。</li> <li>制度開始の平成20年度（16.3%）に比べて8.4ポイント増加している。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民が自分の健康状態を把握し，疾病の発症予防に活かすために健診の受診促進に取り組む。</li> <li>健診・医療・介護データの活用により抽出された健康課題に対し，PDCAサイクルに沿って健康づくり事業を展開し，「健康寿命日本一のまち・呉」の実現に取り組む。</li> <li>平成30年度事業として，骨粗しょう症重症化予防，口腔ケア促進，がん検診の実施，人間ドック費用の助成を予定しており，健診の受診促進のため，受診機会の拡充・受診環境の充実を推進し，健康寿命の延伸を図っていく。</li> </ul>					

### 第3項 地域協働によるまちづくりの推進

重点的に取り組む事業						
(1) 協働によるまちづくりをリードする担い手の育成（まちづくりセンターの指定管理者制度移行，市民協働センターの運用など）						
(2) 地域住民によるまちづくり活動への支援（地域まちづくり計画に基づく地域活動の支援，市民まち普請事業の推進など）						
(3) 地域外からの人材の確保・活用（地域おこし協力隊の受入れ推進）						
目指すべき姿(目標)						
項目	目標(H27→32)	単位	H28	H29	累計	達成率
地域活動に参加している市民の割合	※H26 38.6 → 60	%	(H31調査予定)		—	—
地域活動に参加している市職員の割合	38.9 → 60	%	44.3	44.1	—	—
呉市に愛着を感じている市民の割合	※H26 69.7 → 80	%	(H31調査予定)		—	—
まちづくりサポーターの人数（累計）	16 → 28	人	18	21	5	41.7%
市民まち普請事業の延べ実施件数（累計）	73 → 110	件	82	88	15	40.5%
評価	現状と今後の方向性					
○	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動に参加している市職員の割合は，44%台で横ばいとなっている。</li> <li>・地域内の各種団体の支援活動を行うまちづくりサポーターの人数を，平成29年度に3名増加した。</li> <li>・平成29年度の市民まち普請事業の利用は6件にとどまっており，利用実態に応じた見直しが必要となっている。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各まちづくり委員会等により，地域まちづくり計画に基づいた特色のある事業が実施され，「ゆめづくり地域協働プログラム」の成果は着実に現れていることから，引き続き目標達成に向けて努める。</li> <li>・任期を満了した地域おこし協力隊員への定住・定着の総合サポートに努める。</li> <li>・緩やかなお節介事業，地域おこし協力隊の受入れ推進により，まちづくり活動の担い手を増やしていく。</li> <li>・地域から発案されたまちづくり活動に対して広報・助成を実施し，地域主導での取組を支援していく。</li> </ul>					

【重点戦略2】 地域づくり ～ 地域の魅力の更なる創出 ～

第1項 安全・安心な生活環境の確保

重点的に取り組む事業						
(1) 地域防災力・防犯力の強化・充実（消防団詰所の整備，自主防災組織の結成・育成の促進など） (2) 災害防止施設の整備，浸水対策の強化等（急傾斜地崩壊対策，浸水対策，雨水対策など） (3) 市民が安心して利用できる安全な公共インフラの整備（道路・橋りょう等の維持管理の充実，道路整備） (4) 市民の安全・安心を守るための危機管理機能の強化（防災・防犯情報メールの配信，中央公園の防災公園化など）						
目指すべき姿(目標)						
項目	目標(H27→32)	単位	H28	H29	累計	達成率
災害（山・がけ崩れ）に不安を感じる市民の割合	※H26 51.3 → 45	%	(H31調査予定)		—	—
自主防災組織の活動カバー率	81 → 91	%	82	84	—	—
評価	現状と今後の方向性					
—	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織の活動カバー率は微増ながら上昇しているが，その必要性の認識に地域差があるため，引き続き啓発活動が必要である。</li> <li>狭あい区間の道路拡幅，両側歩道の整備など安心して利用できる安全な公共インフラの整備が進んでいる。</li> <li>急傾斜地崩壊危険箇所のうち，65.3%に対して崩落防止工事を実施している。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広島県自主防災アドバイザー事業の活用や自主防災活動の核となる呉市防災リーダーの養成により，防災力の地域差を解消し，市域防災力の向上に努める。</li> <li>平成30年度から不特定多数の人が利用する大規模建築物及び緊急輸送道路等の沿道建築物に対して，耐震改修費用の助成制度を開始しており，地震に強いまちづくりの推進を図る。</li> <li>急傾斜地崩壊危険箇所の崩壊防止工事を継続して実施する。</li> </ul>					

## 第2項 産業競争力の更なる強化

重点的に取り組む事業						
(1) 特色ある資源を活かした農水産業の振興（有害鳥獣対策の充実，農地保全・遊休農地解消の推進，産地育成・地産地消の推進など）						
(2) ものづくり産業の振興（企業立地の推進，中小企業の新製品・新技術の開発支援，地域産業の活性化支援など）						
(3) 観光・商業振興によるにぎわいの創出（商業施設等の活性化支援，れんがどおりの再整備，観光資源のブラッシュアップなど）						
目指すべき姿(目標)						
項目	目標(H27→32)	単位	H28	H29	累計	達成率
新たな産業団地の従業員数（苗代・阿賀マリノ・天応2期）	1,142 → 1,700	人	1,181	1,164	—	—
新たな産業団地の立地企業数（累計）	7 → 18	社	14	19	12	109.1%
新技術等の開発件数及び新サービス・システムの開発件数（インキュベーション施設）（累計）	178 → 235	件	183	183	5	8.8%
呉の特産として認知する市民が50%を超える農水産品数	※H26 3 → 8	品	(H31調査予定)		—	—
年間入込観光客数	336 → 340	万人	336	H30.7公表予定	—	—
大和ミュージアム来館者の市内回遊率	15.1 → 18	%	16.5	16.3	—	—
評価	現状と今後の方向性					
○	<b>【現状】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度は産業団地の従業員数が若干減少しているが，次年度以降は新工場稼働に伴い増加する見込みである。</li> <li>平成27年3月の東広島・呉自動車道全線開通や低金利等による設備投資環境の向上等により，分譲中の産業団地の需要は高い状況が続いており，これら産業団地への立地企業数は順調に増加し，ほぼ完売となっている。</li> <li>大和ミュージアム来館者の市内回遊率は，16.3%と低い状況が続いている。</li> </ul>					
	<b>【今後の方向性】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業団地の需要は高い状況が続く見込みのため，新しく産業団地を造成する検討を開始し，ものづくり産業の振興に努める。</li> <li>平成29年度はインキュベーション施設への新たな入居がなく，新技術等の開発件数及び新サービス・システムの開発件数が0件となっていることから，入居条件の緩和を実施し，新技術等の開発件数及び新サービス・システムの開発件数増加に向けた支援を行う。</li> <li>大和ミュージアム来館者の市内回遊率向上に向けて，観光資源のブラッシュアップ等を行う。</li> </ul>					

### 第3項 産業を支える人材の確保・育成

重点的に取り組む事業						
(1) 農業・漁業への就労支援（新規農業就労者への支援，新規漁業就労者への支援） (2) ものづくり人材の育成支援（創業支援事業の推進，実践型地域雇用創造事業の推進など） (3) 福祉・医療スタッフの確保（福祉医療人材の確保・養成） (4) 障害者等の就労支援（障害者就労支援体制の充実）						
目指すべき姿(目標)						
項目	目標(H27→32)	単位	H28	H29	累計	達成率
新規農業就業者数（累計）	13 → 28	人	15	16	3	20.0%
新規漁業就業者数（累計）	14 → 29	人	18	22	8	53.3%
実践型地域雇用創造事業による就職者数（累計）	364 → 568 (平成30年度改定で689に変更)	人	460	H30.7公表予定	96	47.1%
評価	現状と今後の方向性					
○	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規農業就業者は，農地の確保ができない，また，技術習得に一定期間を要するなど，短期間での安定した収入の確保が難しいため，希望者が少ない現状がある。</li> <li>就労支援事業のうち新規漁業就業者は，達成率が50%を超えて毎年度順調に伸びている。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブランド化の推進等により生産者の所得向上や遊休農地の解消を図り，稼げる農業となることを目指す。</li> <li>新規就農者の経営安定化を支援する新規就農者総合支援事業の広報に努め制度の浸透を図る。</li> <li>新規漁業就業者支援については毎年一定の希望者がおり，着実な就業に結び付いている。今年度はシルバー漁師研修の拡充を行うなど，今後とも新規漁業者への支援を継続していく。</li> <li>様々な業種で起業しようとする人に対して，呉市，公益財団法人くれ産業振興センター，商工会議所，金融機関等の相談窓口の開設，融資などの支援を行うことで産業を支える人材の確保・育成に努める。</li> </ul>					

【重点戦略3】 都市づくり ～ 都市機能の強化・充実 ～

第1項 高次都市機能の強化・充実

重点的に取り組む事業						
(1) 都市ブランド力の向上（戦艦「大和」のふるさと・くれブランド向上事業・日本遺産登録に向けての取組など） (2) 高速交通体系を結ぶ幹線道路網の整備促進（休山新道4車線化の整備促進，呉平谷線の整備促進など） (3) 拠点となる公共施設の整備（拠点スポーツ施設の整備，消防局・西消防署新庁舎の整備，証明書コンビニ交付の推進など） (4) 市民生活に欠かせない公共交通の維持・確保（基幹バス路線，生活バス路線，地域主導型交通サービスの運行支援など）						
目指すべき姿(目標)						
項目	目標(H27→32)	単位	H28	H29	累計	達成率
休山新道の所要時間（西口交差点～東口交差点）	約7分 → 約3分	%	(工事施工中)		—	—
十分な都市機能が備わっていると思う市民の割合	※H26 13.6 → 20	%	(H31調査予定)		—	—
交通体系に対する市民の満足度	※H26 16.2 → 25	%	(H31調査予定)		—	—
評価	現状と今後の方向性					
—	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休山新道については，4車線化工事が平成30年度完了予定</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊町御手洗地区が北前船寄港地として日本遺産登録されるため，2つの日本遺産を活用し，認知度の向上を図る。</li> <li>・拠点となる公共施設の適正配置や呉駅周辺地域の再整備の推進について検討を進め，高次都市機能の強化を図る。</li> <li>・公共交通の維持・確保に向けて，現状を広く市民へ周知し，運行形態の見直し等の取組を進める。</li> </ul>					

## 第2項 魅力ある住生活環境の確保

重点的に取り組む事業						
(1) 定住・移住の促進（子育て世代の定住支援，移住希望者の住宅取得支援など） (2) 空き家の有効活用（空き家家財道具等処分支援，学生シェアハウス支援，空き家バンクの充実など） (3) 環境に配慮した生活空間の整備（家庭用燃料電池（エネファーム等）の普及促進，廃棄物の適正処理） (4) 「呉らしさ」の情報発信（シティプロモーションの推進など）						
目指すべき姿(目標)						
項目	目標(H27→32)	単位	H28	H29	累計	達成率
空き家バンク登録物件の成約件数（累計）	64→140	件	83	114	50	65.8%
定住サポートセンターへの問合せ件数（累計）	467→1,500	件	821	1,089	622	60.2%
家庭用燃料電池設置件数（累計）	124→524	件	148	172	48	12.0%
一般廃棄物の排出量	H27年度(77,773)比5%削減	t	2%減 (76,042)	—	—	—
評価	現状と今後の方向性					
○	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンク登録物件の成約件数及び定住サポートセンターへの問合せ件数は順調に伸びている。</li> <li>・家庭用燃料電池設置件数の実績は，平成28年度24件から平成29年度24件と横ばいで推移している。</li> <li>・キャラクター「呉氏」によるシティプロモーションにより，関連動画再生回数は累計73万回，キャラクターグッズは18社から59種類（平成30年4月20日時点）が発売され，呉市の魅力発信につながっている。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住サポートセンターへの問合せが多い島しょ部では，各地区の自治会の会議で職員が空き家の情報提供依頼を行うなど，空き家バンクの新規登録物件を増やす取組を進める。</li> <li>・東京や大阪で開催される移住・定住希望者に対する説明・相談会，呉市単独定住セミナー，人材紹介会社と連携した情報発信，現地案内，宿泊助成などを充実させ，定住・移住サポートの充実を図る。</li> <li>・家庭用燃料電池システム設置補助について，引き続き関係事業者等への広報・普及啓発に取り組み，制度の周知を図る。</li> <li>・継続的なシティプロモーションにより，呉市の知名度向上を図る。</li> </ul>					